令和5年度

年間授業計画

第一学年

東京都立大島高等学校

〒100－0101
東京都大島町元町字八重の水127

TEL:04992（2）1431

FAX:04992（2）2461

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 依例 国語　　例Ⅱ 現代の国語

教 科：国語　　科 目：現代の国語　　単位数：３ 単位

対象学年組：第 1 学年　組～　組

教科担当者：（1組：市川　）（2組：栗山　）（3組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（高等学校 現代の国語（第一学習社））

教科：国語　　の目標：

【知識及び技能】　生活にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【思考力、判断力、表現力等】　言葉による文化や人間性への国語を深めるとともに、言語感覚を豊かにし、多様な言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目：現代の国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けるようにする。	論理的に考えるカや深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	観点			評価規準	知	思	態	配当時数
			知	思	態					
1学期	「文章の読み方」（応用）（中教一部） 【知識及び技能】 言葉と論理との関係を理解した上で理解について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・書くことにおいて自分の考えの明確に結びかとう、筆者のかし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 知識を身につけることによって自分の工夫の工夫を確認する理論の仕方を理解し、知識を深く論理の展開を把握しようとする	【指導事項】 内容の構成・要約、意見と理論 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 今後の授業に向けて、ICT端末に慣れる				【知識及び技能】 言葉と論理との関係について理解しているか。内容を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・書くことにおいて自分の考えの明確に結びかとう、筆者のかし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫して文章を作ることができる 【学びに向かう力、人間性等】 知識を身につけることによって自分の工夫の工夫を確認する理論の仕方を理解し、知識を深く論理の展開を把握しようとする態度を身につけようとしている	○	○	○	3
	「論理的な表現」（アジアクエイ的思考） 【知識及び技能】 言葉と論理との関係について理解する言語を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと・書くことにおいて、自分の考えの明確に結びかとう論の構成や展開を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 アジアクエイの思考を身につけ、思考を整理しようとしている	【指導事項】 アジアクエイの思考法、論理展開 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 文章の理解を深め方法を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと・書くことにおいて、自分の考えの明確に結びかとう論の構成や展開を工夫できる 【学びに向かう、人間性等】 アジアクエイの思考を身につけ、思考を整理しようとしている	○	○	○	4
	「筆者の表現」（応用） 【知識及び技能】 文章の論理の組み立てと言語の仕方について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと・書くことにおいて文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて設定を選ぶ明確に結び、要旨や要点を整理する 【学びに向かう、人間性等】 筆者の主張に従って具体例を活用して定義し、表現の仕方を工夫して説明しようとする	【指導事項】 説明文、論・例の関係 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 文章の論理の組み立てと言語の仕方について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと・書くことにおいて文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて設定を選ぶ明確に結び、要旨や要点を整理できる 【学びに向かう、人間性等】 筆者の主張に従って具体例を活用して定義し、表現の仕方を工夫して説明しようとする	○	○	○	4
	「序文と解説の書き換い説明書」を作成する 【知識及び技能】 説明を的確に説明する方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと・書くことにおいて、説明をわかりやすく説明する方法を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 説明を聞手にわかりやすく説明する方法を理解する	【指導事項】 レポートの作成、および発表 【教材】 ICT端末、トランプ、ゲームなど 【一人１台端末の活用】 ICT端末を用いたレポート作成を調べ				【知識及び技能】 説明を的確に説明する方法を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 わかりやすく説明を実践できる 【学びに向かう力、人間性等】 説明を聞手にわかりやすく説明する方法を理解しようとする	○	○	○	5
	定期考査(１学期中間考査)						○	○	○	1
1学期	「わかること」（新本学文） 【知識及び技能】 言葉と論理との関係と理解の関係について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと・書くことにおいて文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて設定を選ぶ明確に結び、要旨や要点を整理する 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張に従って具体例を活用して定義し、表現の仕方を工夫して説明しようとする	【指導事項】 主張と論理、接続詞 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 言葉と論理との関係について理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと・書くことにおいて文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて設定を選ぶ明確に結び、要旨や要点を整理できる 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張に従って具体例を活用して定義し、表現の仕方を工夫して説明している	○	○	○	4
	「書き方の基礎ⅠⅡ」（令和５版教科） 【知識及び技能】 文章の構成、論理展開、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮して表現について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・書くこと」において、自分の考えの明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する 【学びに向かう、人間性等】 書く表現・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとする	【指導事項】 表現と論理の関係、論理の知識 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 書き方の基礎や特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮して表現について理解を深めている 【思考力、判断力、表現力等】 ・書くこと」において、自分の考えの明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫できる 【学びに向かう、人間性等】 書く表現・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている	○	○	○	10
	「論説文」学習論文 【知識及び技能】 論説文の読解について理解を深めている 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において自分の考えの明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する 【学びに向かう、人間性等】 自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとする	【指導事項】 比較、聞く合い読書 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 比較などの観点について理解を深めることができる 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において自分の考えの明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する 【学びに向かう、人間性等】 自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている	○	○	○	8
	「スピーチ文法を組立る」 【知識及び技能】 話し言葉の特徴などを、正確さ、分かりやすさ、適切さに配慮した表現を用いる 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において、自分の考えを明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を工夫して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する 【学びに向かう、人間性等】 話して表現や話し方を工夫し、効果的に話そうとする	【指導事項】 ビブリオバトル、スピーチ 【教材】 学校図書館もしくは自宅にある本など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 話し言葉の特徴などを、正確さ、分かりやすさ、適切さに配慮した表現を用いることができる 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において、自分の考えを明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する 【学びに向かう、人間性等】 話して表現や話し方を工夫し、効果的に話そうとしている	○	○	○	3
	定期考査(１学期末考査)						○	○	○	1
2学期	「文化」としての科学」西内 【知識及び技能】 言葉の表現の組み立て方や接続の仕方について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において文章に含まれている情報を整理に関連つけながら、内容や書き手の意図を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、自分の考えをまとめようとする	【指導事項】 論理展開　事実と意見の違い 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 文章の論理の組み立て方や接続の仕方について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において文章に含まれている情報を整理に関連つけながら、内容や書き手の意図を理解できる 【学びに向かう力、人間性等】 接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、自分の考えをまとめようとしている	○	○	○	8
	「快適な学習」（令和学入門） 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮して表現について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと・書くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、特色の理解が深められるように表現を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 敬語を含む日本語に関する正確な知識を身につけ、それを自分の文章や発言に活用しようとする	【指導事項】 敬語の知識、日本語学 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮して表現について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと・書くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、特色の理解が深められるように表現を工夫できる 【学びに向かう力、人間性等】 敬語を含む日本語に関する正確な知識を身につけ、それを自分の文章や発言に活用しようとしている	○	○	○	4
	「ディアローグ」内田樹 【知識及び技能】 説明の要旨と一般化された理解との関係について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて設定を選ぶ明確に結び、要旨や要点を整理する 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えをまとめて伝えようとする	【指導事項】 説明と一般化、キーワードの調べ 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 説明の要旨と一般化された理解との関係について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて設定を選ぶ明確に結び、要旨や要点を整理できる 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えをまとめて伝えようとしている	○	○	○	8
	定期考査(２学期中間考査)						○	○	○	1
2学期	「論理分析」（小論文指導法） 【知識及び技能】 文章の論理の組み立て方や接続の仕方について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において文章に含まれている情報を整理に関連つけながら、内容や書き手の意図を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、内容理解しようとする	【指導事項】 対比、具体と抽象、事実と意見、主張と論拠 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 文章の論理の組み立て方や接続の仕方について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において文章に含まれている情報を整理に関連つけながら、内容や書き手の意図を理解できる 【学びに向かう力、人間性等】 論理の展開を粘り強く分析し、理解しようとしている	○	○	○	10
	「物語の性」語学事 【知識及び技能】 文章の論理の組み立て方や接続の仕方について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において文章に含まれている情報を整理に関連つけながら、内容や書き手の意図を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、内容理解に役立てようとする	【指導事項】 具体と抽象の関係、論理の知識 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 文章の論理の組み立て方や接続の仕方について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において文章に含まれている情報を整理に関連つけながら、内容や書き手の意図を理解できる 【学びに向かう力、人間性等】 接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、内容理解に役立てようとしている	○	○	○	4
	「情報の関係と理解」 【知識及び技能】 情報の金属性や信頼性の特徴の仕方について理解を深めて使う 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において自分の考えの明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する 【学びに向かう、人間性等】 情報の金属性を具体的に解釈し、学習機能に合って理解を深めようとする	【指導事項】 論文を読み、レポートや小論文指導 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 情報の金属性や信頼性の特徴の仕方について理解を深めて使っている 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において自分の考えの明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 情報の金属性を具体的に解釈し、学習機能に合って理解を深めようとしている	○	○	○	7
	「の対象の解説」内田樹 【知識及び技能】 説明の仕方について理解を深めて使う 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において自分の考えの明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 説明文を読み、レポートや小論文指導を通して、要旨をまとめて話し合おうとする	【指導事項】 対比、具体、論理の展開と分析 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 説明の仕方について理解を深めることができる 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において自分の考えの明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫できる 【学びに向かう力、人間性等】 説明文を読み、レポートや小論文指導を通して、要旨をまとめようとしている	○	○	○	8
	定期考査(２学期末考査)						○	○	○	1
3学期	「情報源の明示」（小論文指導法） 【知識及び技能】 文章の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深めて使っている 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において自分の考えの明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 書く文章に従って適しかつ分かりやすい文を工夫しようとする	【指導事項】 資料の分析、調査 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 文章の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深めてなる 【思考力、判断力、表現力】 ・聞くこと」において自分の考えの明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 書く文章に従って適しかつ分かりやすい文を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 書く文章表現について話し合ったり考えたりしようとしている	○	○	○	10
	「知の構成」学習表現 【知識及び技能】 説明の仕方について理解を深め、実際に使用しようとする 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において自分の考えの明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する 【学びに向かう、人間性等】 作品にあらわれた考え方を踏まえて、要旨をまとめて話し合おうとする	【指導事項】 説明文、論・例の関係 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 説明の仕方について理解を深め、実際に使用できている 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において自分の考えの明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する 【学びに向かう、人間性等】 作品にあらわれた考え方を踏まえて、要旨をまとめて話し合おうとする	○	○	○	8
	「対話形成のための話し合いとディベート」 【知識及び技能】 説明の金属性や信頼性の特徴の仕方について理解を深めて使う 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において自分の考えの明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する ・対話で論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 ・話し合いの重要性を理解し、展開の工夫に話し合いの進め方を推進しようとする	【指導事項】 説明討論、話し合い読書 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 説明の金属性や信頼性の特徴の仕方について理解を深めて使える 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において自分の考えの明確に結びかとう、特色のし方や筆者の出方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する ・対話で論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫できる 【学びに向かう力、人間性等】 実生活において合意形成のための話し合いや議論を理解し、機動的に話し合いの進め方を推進しようとしている	○	○	○	6
	「ディベーション読み聞と表現」村田一 【知識及び技能】 文章の論理の組み立て方や接続の仕方について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて設定を選ぶ明確に結び、要旨や要点を整理する 【学びに向かう力、人間性等】 内容や構成を説明を選ぶ聞く、学習機能に従って要旨をまとめようとする	【指導事項】 対・論・例、具体と抽象 【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜使う				【知識及び技能】 文章の論理の組み立て方や接続の仕方について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 ・聞くこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて設定を選ぶ明確に結び、要旨や要点を整理できる 【学びに向かう力、人間性等】 内容や構成を説明を選ぶ聞く、学習機能に従って要旨をまとめようとしている	○	○	○	3
	定期考査(３学期学年末考査)						○	○	○	1
										70 授業時数

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科 国語　　科目 言語文化

教 科： 国語　　科 目： 言語文化　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年　2 組～　3 組

教科担当者：（ 組： 市川 ）（ 組： 栗山 ）（ 組： 下川 ）（ 組：　　）（ 組：　　）（ 組：　　）

使用教科書：（ 高等学校　言語文化（第一学習社）　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】：生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】：論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】：言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 言	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	『古文を読むために１』 『古文を読むために２』 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する 【学びに向かう力、人間性等】 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとする	・【指導事項】 文語文法、古典単語 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、古典単語帳、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 今後の授業に向けて、ICT端末に慣れる			○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深められる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている	○	○		3
	『歌のくら闇』（平田俊子作詩） 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する 【学びに向かう力、人間性等】 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとする	・【指導事項】 文語文法、古典単語、品詞分解 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、古典単語帳、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う			○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深められる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている	○	○		3
	『漢文の学習』 『漢文を読むために１』 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとする	・【指導事項】 訓読の技法 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う			○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている	○	○		3
	定期考査（１学期中間考査）						○	○	○	1
	『漢文を読むために２～５』 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとする	・【指導事項】 訓読の技法 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う			○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている	○	○		3
	『和史』（嶋田雅） 『孤信夜戦』（嶋田雅） 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて仮説を基に的確に捉える 【学びに向かう力、人間性等】 歴史伝説の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとする	・【指導事項】 文法事項、本文読解 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う		○		【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深められる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて仮説を基に的確に捉えられる 【学びに向かう力、人間性等】 歴史伝説の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとする	○	○	○	7
	『なとたけのぐべ姫』（竹取物語） 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、詠嘆と磨き詠嘆を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて仮説を基に的確に捉える 【学びに向かう力、人間性等】 用法の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べようとしている	・【指導事項】 文法文法、古典単語、本文読解 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、古典単語帳、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う			○	【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、詠嘆と磨き詠嘆を豊かにできる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて仮説を基に的確に捉えられる 【学びに向かう力、人間性等】 用法の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べようとしている	○	○	○	5
	定期考査（１学期末考査）						○	○	○	1
2学期	『論説』（論説） 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する 【学びに向かう力、人間性等】 『論説』が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、名その趣旨とするところを粘り強く説明しようとする	・【指導事項】 訓読の技法、擬教思想 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う			○	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 『論説』が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、名その趣旨とするところを粘り強く説明しようとしている	○	○	○	4
	『古文を読むために３』 『古文を読むために４』 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する 【学びに向かう力、人間性等】 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとする	・【指導事項】 文語文法、古典単語 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、古典単語帳、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う			○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深められる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている	○	○	○	4
	『芥川』（伊勢物語） 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などに理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する 【学びに向かう力、人間性等】 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に応じて和歌の果たす意味を捉えようとする	・【指導事項】 文法文法、古典単語、本文読解 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、古典単語帳、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う			○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などに理解を深められる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に応じて和歌の果たす意味を捉えようとしている	○	○	○	4
	定期考査（２学期中間考査）						○	○	○	1
	『雑談の世界』 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く漢詩を読み比べ、詠まれた情景や心情を説明しようとする	・【指導事項】 漢詩のルール、内容理解 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う			○	【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く漢詩を読み比べ、詠まれた情景や心情を説明しようとしている	○	○	○	4
	『ある人、ただ者でないことを察ふ』 『丹後に出張といふところあり』 （佐佐夜） 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する 【学びに向かう力、人間性等】 本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしようとする	・【指導事項】 文法文法、古典単語、本文読解 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、古典単語帳、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う			○	【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている	○	○	○	8
	定期考査（２学期末考査）						○	○	○	1
3学期	『元従隆対』（十九史略） 『笠盛』（十八史略） 『熟蔵要戦』（十八史略） 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて仮説を基に的確に捉える 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明しようとする	・【指導事項】 文法事項、本文読解 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う			○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深められる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて仮説を基に的確に捉えられる 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明しようとしている	○	○	○	8
	『紙園検舎』（平家物語） 【知識及び技能】 和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する 【学びに向かう力、人間性等】 文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しをもって表現や描写・文体の特色を評価しようとする	・【指導事項】 文法事項、古典単語、本文読解 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、古典単語帳、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う			○	【知識及び技能】 和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深められる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価できている 【学びに向かう力、人間性等】 文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しをもって表現や描写・文体の特色を評価しようとしている	○	○	○	6
	『一つのメルヘン』中原中也 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する 【学びに向かう力、人間性等】 繰り返し音韻し、積極的に詩のリズムを理解しようとする	・【指導事項】 比喩、音韻など ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人１台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う		○		【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解できている 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価できている 【学びに向かう力、人間性等】 繰り返し音韻し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている	○	○	○	3
	定期考査（学年末考査）						○	○	○	1 計27 79

年間授業計画

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　地理歴史　科目　地理総合

教　科：地理歴史　　科　目：地理総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　3 組

教科担当者：（１組：山根）　（２組：山根）　（３組：山根）　（　組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（ 第一学習社　高等学校地理総合　世界を学び，地域をつくる　）

教科　地理歴史　の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力，判断力，表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力，人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　地理総合　の目標：

【知識及び技能】	【思考力，判断力，表現力等】	【学びに向かう力，人間性等】
地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球の課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元「球面上の世界と地図」 緯度・経度の役割，地軸の傾きによる季節変化と時差の存在，地図上の情報を読み解く有用性，GNSSやGISなどについて理解させる。	・指導事項 ・地球上の位置 ・世界の時差 ・世界地図の見方・使い方 ・地図から読み取る情報 ・デジタル化された地図 ・地理情報システムの活用 ・教材 教科書，資料集，ICT端末 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 時差の計算，地図の図法の特徴と欠点，GNSSやGISのしくみと実社会での活用例を理解している。 【思考・判断・表現】 球面を平面に表現する際の特徴と問題点や，ハザードマップを作成でどのような情報が必要かを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまなWeb地図にアクセスし，地理情報システムなどに関心をもつことができている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	B 単元「国家の結びつきとグローバル化する社会」 交通機関や物流の発達による，生活，社会，産業，国家間の関係の変化や，日本の領域と周辺国との領土問題について理解させる。	・指導事項 ・国家の領域と国境 ・日本の領域とさまざまな領土問題 ・交通機関の発達と縮小する世界 ・拡大する世界の貿易と物流 ・グローバル化と 人の移動による結びつき ・教材 教科書，資料集，ICT端末 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 交通・情報・通信のそれぞれの役割や長所・短所や，世界貿易の形態や課題を，知識として身につけている。 【思考・判断・表現】 国際間の人の移動や国際貿易，国家間の結合などが活発化・複雑化していることや，日本が抱える領土問題の解決に向けて，政府や個人として必要なことを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界で起こっている貿易・領土問題について調べ，現状と課題をまとめることができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2学期	C 単元「持続可能な社会を目指して」 5つのPの枠組みを活用し，「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念や具体的な内容への理解を深めさせ，「持続可能な社会」の実現へ向けて，私たち一人ひとりができることを考察させる。	・指導事項 ・持続可能な開発目標（SDGs） ・地球的課題の地理的な側面 ・教材 教科書，資料集，ICT端末 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 SDGsの17の目標について理解し，持続可能な社会を築いていく担い手として，地理総合を学習する意義に気づく。 【思考・判断・表現】 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けては，個人の態度だけでなく，国家や地方自治体，企業などにも求められる姿勢であることを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な開発目標（SDGs）に向けた国際社会の取組や日本企業の取組などに関心を持って調べることができている。	○	○	○	2
	D 単元「すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて」 現在，直面している地球的課題に着目し，具体的な事例を通して，すべての人々の尊厳と平等が守られた社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力などについて理解させる。	・指導事項 ・貧困問題 ・人口問題 ・食料問題 ・持続可能な水の利用 ・健康・福祉問題 ・教育・ジェンダー問題 ・教材 教科書，資料集，ICT端末 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 資料をもとに，人々の尊厳と平等に関わる諸課題の実情とその背景について理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 各課題の解決の方向性について考察し，他者に説明したり，構想したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題に関して，課題を追究したり解決したりする活動を通し，課題解決へ向けた持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力などについて考察したり構想したりして，他者に説明したり議論したりする主体的な態度が見られる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	E 単元「自然と調和した豊かな社会に向けて」 現在，直面している地球的課題に着目し，具体的な事例を通して，自然と調和した豊かな社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力などについて理解させる。	・指導事項 ・限りある資源 ・エネルギー問題 ・都市・居住問題 ・教材 教科書，資料集，ICT端末 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 資料をもとに，資源を巡る問題の実情とその背景，エネルギー源の変遷や各発電方法の特徴，都市・居住問題の実情とその背景について理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 循環型社会の実現，再生可能エネルギーの活用やエネルギー効率向上，持続可能な都市（サステナブルシティ）の実現のために求められていることについて考察し，他者に説明したり，構想したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題に関して，課題を追究したり解決したりする活動を通し，課題解決へ向けた持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力などについて考察したり構想したりして，他者に説明したり議論したりする主体的な態度が見られる。	○	○	○	10
	F 単元「平和で公正な社会に向けて」 現在，直面している地球的課題に着目し，具体的な事例を通して，平和で公正な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力などについて理解させる。	・指導事項 ・世界のさまざまな紛争 ・さまざまな対立の解決に向けて ・国際協力とパートナーシップ ・教材 教科書，資料集，ICT端末 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 資料をもとに，世界で起きている様々な紛争とその背景，国内紛争や国際紛争解決のために行われている取り組み，国際機関や国家，NGOやNPOなどが行っている国際協力などについて理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 世界で起きている紛争と私たちの生活との関わり，平和な世界の実現のために求められていることを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題に関して，課題を追究したり解決したりする活動を通し，課題解決へ向けた持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力などについて考察したり構想したりして，他者に説明したり議論したりする主体的な態度が見られる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
3学期	G 単元「自然環境と防災」 人々の生活に大きな影響を与える地震災害・津波被害・火山噴火・風水害について，その発生メカニズムやこれまでに受けてきた自然災害の歴史を理解させるとともに，災害に備え，自然環境とともに暮らす私たちの生活について考察させる。	・指導事項 ・地球規模で見る地形の姿と 自然災害 ・人々の暮らしを取りまく自然環境 ・変動帯の自然と防災 ・湿潤地域の自然と防災 ・私たちができる災害への備え ・教材 教科書，資料集，ICT端末 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 地震や火山噴火などの自然災害の発生メカニズムやその偏在性，湿潤地域の自然や災害について資料から必要な情報を適切に読み取り，地域のハザードマップから学校周辺地域で起こりうる災害を把握することができる。 【思考・判断・表現】 ハザードマップなどを読み取り，地域での災害発生時の避難所や避難経路などをまとめ，他者に説明したり話し合ったりしてよりよい避難方法を見つけることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 防災力を高めるために個人・地域・自治体に必要な事項を先進地域に学んだりすることなどを通じて自主的に考え，地域社会に対して提言するような主体的な態度が見られる。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
						合計	70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　地理歴史科　　科目 歴史総合

教　科：　地理歴史科　　科　目：　歴史総合　　単位数：　　単位

対象学年組：第　１学年　　２組～　　３組

教科担当者：（２組：　高島　）（３組：　高島　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 東京書籍　新選歴史総合　　）

教科　地理歴史科　　の目標：

【知識及び技能】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することとの大切さについての自覚などを深める。

科目　歴史総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して，18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，18世紀のアジアの経済と社会を理解する。	「結び付く世界と日本の開国」 1　18世紀の東アジア 2　結び付くアジア諸地域 3　18世紀のヨーロッパとアジア	【知】18世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 【思】　18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】　近代化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	6
	産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，工業化と世界市場の形成を理解する。	「結び付く世界と日本の開国」 4　産業革命のはじまり 5　世界市場の形成 6　東アジア国際関係の変化と日本の開国 7　世界経済の変化と日本の産業革命	【知】産業革命と交通・通信手段の革新，中国の開港と日本の開国などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，工業化と世界市場の形成を理解している。 【思】　産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】近代化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	国民国家の形成の背景や影響などに着目して，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，立憲体制と国民国家の形成を理解する。	「国民国家と明治維新」 1　市民革命と近代社会 2　自由主義とナショナリズム 3　アジアの諸国家とその変容 4　明治維新と東アジアの国際関係	【知】18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向，日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，立憲体制と国民国家の形成を理解している。 【思】国民国家の形成の背景や影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】近代化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	6
	帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し表現することを通して，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。	「国民国家と明治維新」 5　立憲制の広まり 6　帝国主義と植民地 7　日清戦争と華夷秩序の解体 8　帝国主義諸国の競合と国際関係 9　植民地支配と植民地の近代	【知】列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 【思】帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】近代化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2学期	第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。	「第一次世界大戦と大衆社会」 1　大衆社会の時代 2　第一次世界大戦の展開 3　国際協調体制の形成 4　ソヴィエト連邦の成立と社会主義	【知】第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 【思】　第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	6
	第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。	「第一次世界大戦と大衆社会」 5　アメリカ合衆国の台頭と大量消費社会 6　アジアの経済成長と移動する人々 7　反植民地主義の高揚と国際秩序の変容 8　民主主義の拡大と社会変革の動き	【知】大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 【思】第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，国際協調体制の動揺を理解する。	「経済危機と第二次世界大戦」 1　世界恐慌 2　アジア・アフリカと大衆社会 3　国際協調体制の崩壊 4　日中戦争と深刻化する世界の危機	【知】世界恐慌，ファシズムの伸長，日本の対外政策などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，国際協調体制の動揺を理解している。 【思】経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	6
	第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。	「経済危機と第二次世界大戦」 5　第二次世界大戦の勃発 6　第二次世界大戦における連合国と戦後構想 7　アジア太平洋戦争と日本の敗戦 8　連合国の占領政策と冷戦	【知】第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 【思】　第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について，見通しを	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3学期	地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，国際政治の変容を理解する。	「冷戦と世界経済」　1 冷戦の拡大と第三勢力 2　キューバ危機と核兵器の管理 3　脱植民地化の進展と地域紛争 4　計画経済と開発	【知】脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，国際政治の変容を理解している。 【思】　地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】グローバル化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
						合計	70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　数学　　科目 数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　1 学年　　1 組～　　3 組

教科担当者：（Aクラス：田中）　（Bクラス：西川）　（Cクラス：柴田）

使用教科書：（ 新課程　新編　数学Ⅰ　（数研出版）　　）

使用教材：　（ 新課程　教科書傍用　サクシード　数学Ⅰ＋Ａ（数研出版）　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】基本的な概念、原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返るなど、数学的な見方や考え方を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】数学的な考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

科目　数学Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、２次関数、データの分析及び図形と計量における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることなどを通して、数と式、２次関数、データの分析及び図形と計量における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式、２次関数、データの分析及び図形と計量の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【第１章　数と式】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	改訂版　新編　数学Ⅰ　（数研出版） 【第１章　数と式】 第１節　式の計算 第２節　実数 第３節　１次不等式	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	【第２章　集合と命題】 【第３章　関数とグラフ】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	改訂版　新編　数学Ⅰ　（数研出版） 【第２章　集合と命題】 集合 命題と条件 命題とその逆・対偶・裏 命題と証明	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	10
		改訂版　新編　数学Ⅰ　（数研出版） 【第３章　関数とグラフ】 第１節　２次関数のグラフ		○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2学期	【第３章　関数とグラフ】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	改訂版　新編　数学Ⅰ　（数研出版） 【第３章　関数とグラフ】 第１節　２次関数のグラフ 第２節　２次関数の値の変化 第３節　２次方程式と２次不等式	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	【第４章　図形と計量】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	改訂版　新編　数学Ⅰ　（数研出版） 【第４章　図形と計量】 第１節　三角比 第２節　三角形への応用	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
3学期	【第４章　図形と計量】 【第５章　データの分析】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	改訂版　新編　数学Ⅰ　（数研出版） 【第４章　図形と計量】 第２節　三角形への応用	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	11
		改訂版　新編　数学Ⅰ　（数研出版） 【第５章　データの分析】 データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差 データの相関		○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計 105

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　数学　　科目 数学A

教　科：　数学　　科　目：　数学A　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　2 組～　3 組

教科担当者：（Aクラス：柴田）　（Bクラス：西川）

使用教科書：（ 新課程　新編　数学A　（数研出版）　　）

使用教材：　（ 新課程　教科書傍用　サクシード　数学Ⅰ＋Ａ（数研出版）　　）

教科　数学　　の目標：

【知識及び技能】基本的な概念、原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返るなど、数学的な見方や考え方を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】数学的な考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

科目　数学A　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率、図形の性質および数学と人間の活動における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることなどを通して、場合の数と確率、図形の性質および数学と人間の活動における数学的な見方や考え方を身に付けている。	場合の数と確率、図形の性質および数学と人間の活動の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【第１章　場合の数と確率】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	新編　数学A　（数研出版） 【第１章　場合の数と確率】 準備　集合 第１節　場合の数	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	【第１章　場合の数と確率】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	新編　数学A　（数研出版） 【第１章　場合の数と確率】 第１節　場合の数 第２節　確率	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2学期	【第１章　場合の数と確率】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	新編　数学A　（数研出版） 【第１章　場合の数と確率】 第２節　確率	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	【第２章　図形の性質】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	新編　数学A　（数研出版） 【第２章　図形の性質】 第１節　平面図形 第２節　空間図形	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3学期	【第３章　数学と人間の活動】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	新編　数学A　（数研出版） 【第３章　数学と人間の活動】	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和５年度（１学年用）教科　理科　科目 科学と人間生活

教　科：　理科　　科　目：　科学と人間生活　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　３組

教科担当者：（　１組：荻原　）（　２組：荻原　）（　３組：荻原　）

使用教科書：（ 数研　科学と人間生活　）

教科　理科　の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　科学と人間生活　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察，実験などを行い，人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	光に関する観察，実験などを行い，光を中心とした電磁波の性質とその利用について，日常生活と関連付けて理解すること。	光や熱の科学 光の性質とその利用	光に関する観察，実験などを行い，光を中心とした電磁波の性質とその利用について，日常生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	熱に関する観察，実験などを行い，熱の性質，エネルギーの変換と保存及び有効利用について，日常生活と関連付けて理解すること。	光や熱の科学 熱の性質とその利用	熱に関する観察，実験などを行い，熱の性質，エネルギーの変換と保存及び有効利用について，日常生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	身近な材料に関する観察，実験などを行い，金属やプラスチックの種類，性質及び用途と資源の再利用について，日常生活と関連付けて理解すること。	物質の科学 材料とその再利用	身近な材料に関する観察，実験などを行い，金属やプラスチックの種類，性質及び用途と資源の再利用について，日常生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	衣料と食品に関する観察，実験などを行い，身近な衣料材料の性質や用途，食品中の主な成分の性質について，日常生活と関連付けて理解すること。	物質の科学 衣料と食品	衣料と食品に関する観察，実験などを行い，身近な衣料材料の性質や用途，食品中の主な成分の性質について，日常生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2学期	ヒトの生命現象に関する観察，実験などを行い，ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて理解すること。	生命の科学 ヒトの生命現象	ヒトの生命現象に関する観察，実験などを行い，ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	微生物に関する観察，実験などを行い，微生物の働きを人間生活と関連付けて理解すること。	生命の科学 微生物とその利用	微生物に関する観察，実験などを行い，微生物の働きを人間生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	天体に関する観察，実験などを行い，太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて，人間生活と関連付けて理解すること。	宇宙や地球の科学 太陽と地球	天体に関する観察，実験などを行い，太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて，人間生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	自然景観と自然災害に関する観察，実験などを行い，身近な自然景観の成り立ちと自然災害について，人間生活と関連付けて理解すること。	宇宙や地球の科学 自然景観と自然災害	自然景観と自然災害に関する観察，実験などを行い，身近な自然景観の成り立ちと自然災害 について，人間生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3学期	生活していく上で生じた疑問を科学的に考察し表現を行う。	生活する上で生じた疑問の探究	生活していく上で生じた疑問を主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	18
							合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　保健体育　　科目 体育

教　科：保健体育　　科　目：体育　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　3 組

教科担当者：中谷・松田・首藤

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

教科　保健体育　　の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能など及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　体育　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することがでいるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに健康・安全を確保している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	オリエンテーション 体育理論 身体能力の向上について、その理論や具体的な方法について理解し、計画的に実践することができる。	体育授業に臨む心構えと授業ルール、授業の進め方、取り組み姿勢について 運動やスポーツの効果的な学習の仕方、実生活への位置づけ	スポーツテストなどを通じて、筋力・持久力・柔軟性・敏捷性などの能力がどう向上していくのか、合理的・計画的な実践力と互いに協力し、安全に取り組むことができる。	○	○	○	10
	陸上競技(短距離走) 体の使い方や記録向上のための計画的な取り組みや走法について理解する。 体つくり運動 巧緻性を育みながら、種々の体育種目と連動し生かすことができる。	１００m走 ２００m走 ４００m走 コーディネーショントレーニング	各距離における走り方について理解し、記録向上のために合理的・計画的に取り組むことができる。 体の使い方や身のこなし方について、様々な種目と関連付けて取り組み、なおかつ互いに協力しながら協働できる。	○	○	○	15
	定期考査						
	水泳 ４泳法の内、２泳法についての泳法の理解と記録向上のための計画的な実践、安全面に配慮し、居力協働ができる。	自由形(クロール) 平泳ぎ	クロール・平泳ぎの泳法について理解し、意欲的に取り組み技能を高めることができる。また記録向上のために計画的に泳ぎこみ、また安全に配慮し互いに協力して泳法や技能向上に取り組むことができる。	○	○	○	15
	定期考査						
2学期	球技（バレーボール） ネット型の競技を通じての協働、また種目の特性としての個人の技術・技能を高め、試合形式の中での仲間意識の向上を目指す。 ダンス リズムに合わせた全身運動、各ダンスジャンルのリズムや動きを通して身体運動のみならず、文化的側面としてのダンスも学ぶ。 器械運動(マット運動) 回転系の種目、倒立系の種目、それらの混合の種目の特性を理解し、表現としての技の組み合わせを到達地点とする。	バレーボール	バレーボールびおける個々の技能を高め、また合理的・計画的に考えて技能向上に取り組むことができる。また用具や施設の安全管理、試合形式における役割を責任もって果たし、互いに協力して、運営できる。	○	○	○	15
		ダンス	様々なジャンルのダンスや個々の体の動きのみならず表現についても理解し、合理的・計画的に技能向上のために取り組むことができる。また互いに協働し安全に留意して活動することができる。	○	○	○	15
		器械運動(マット運動)	前転や後転といった回転系の技に開脚や伸膝といった要素を取り入れるとともに倒立系の動きを混ぜ各技の完成度を高めるとともに安全面への配慮に細心の注意を払い仲間と協働して計画的に取り組むことができる。	○	○	○	15
3学期	陸上競技(長距離走) 男子１０km、女子８kmを到達地点として、各距離に応じた走り方や心肺能力の向上について理解し、計画的に記録向上させることができる。	陸上競技(長距離走)	各距離における走法の理解、到達距離に向けた計画的な取り組みができ、互いに協力することができる。	○	○	○	20
							合計 105

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　保健体育　　科目 保健

教　科：保健体育　　科　目：保健　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　3 組

教科担当者：（　1～3組：松田　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 現代高等学校　　）

教科　保健体育　　の目標：保健の見方考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次の通り育成する。

【知識及び技能】個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目　保健　　の目標：個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。
生涯を通じて自らの健康を適切に管理し，改善していく資質や能力身につける。
実生活に活かすための思考力、判断力を養い、適切な行動選択ができるようにする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身につけている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	現代社会と健康 ・健康の捉え方	私たちの健康の姿 健康の捉え方 健康と意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり	健康について正しくとらえること、理想の健康についての課題を考えること、健康とは何かの問いに対し、自分なりの答えを考えること。健康な生活への課題と改善に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	現代社会と健康 ・生活習慣病などの予防と回復 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	生活習慣病と予防 食事と健康 運動と健康 休養・睡眠と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康	生活習慣病の原因について毎日の食事・運動・休養との関係性について正しく理解し、将来の生活への課題を主体的に見つけること、また飲酒や喫煙といった嗜好や習慣と健康への影響について考え、薬物乱用防止の知識を深めようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2学期	現代社会と健康 ・現代の感染症と予防	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防	新興感染症や再興感染症、また現代における感染症についての知識を深め、感染症の予防や課題について考え、あわせて、性感染症との関連についても主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	現代社会と健康 ・精神疾患の予防と回復	欲求と適応規制 心身相関とストレス ストレスへの対処 心の健康と自己実現	心の安定と欲求、欲求不満との関係について、心身相関の観点からも理解を深めることができ、なおかつ自らの課題を考えることができる。ストレスへの対処や現代における課題について主体性をもって解決するために取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
3学期	現代社会と健康 ・安全な社会づくり	交通事故の現状と原因 交通社会における運転者の資質と責任 安全な交通社会づくり	交通事故の原因について理解し、安全運転の必要性と高校生時期における交通マナーの問題点について自ら考え課題を見つけることができる。安全な交通社会について主体的に考え課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	現代社会と健康 ・応急手当	応急手当の意義とその基本 心肺蘇生法 日常的な応急手当	傷病者に対しての応急処置(ＲＩＣＥ処置)について理解し、また心肺蘇生法について知識だけでなく実践力も身につけている。また季節や状況に応じて傷病等発生の予測について考えることができ、主体的に課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計 35

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　芸術　　科目 音楽Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　3 組

教科担当者：（１組：赤木　）（２組：赤木　）（３組：赤木　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（ MOUSA１　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	曲にふさわしい発声や奏法 【知識及び技能】歌唱や器楽の特徴について理解するとともに、曲にふさわしい奏法などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱や器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・斉唱 【教材】 ・校歌・Ave Maria ・一人１台端末 【指導項目】 ・ピアノ 【教材】 ・きらきら星 ・一人１台端末	○	○			【知識及び技能】歌唱や器楽の特徴について理解するとともに曲にふさわしい奏法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱や器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	11
	世界の様々な音楽 【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽構造との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて考え、音楽の良さを味わって聴くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】曲想や曲に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さを味わって聴く活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・楽器の歴史 ・オペラ ・楽典 【教材】 ・カルメン ・ピアノ ・Music Note ・一人１台端末				○	【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽構造との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて考え音楽の良さを味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】曲想や曲に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さを味わって聴く活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	アンサンブル 【知識及び技能】アンサンブルの特徴について理解するとともに、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱や器楽の特徴および様々な演奏形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・アンサンブル 【教材】 ・チェリー ・一人１台端末	○				【知識及び技能】アンサンブルの特徴について理解するとともに、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱や器楽の特徴および様々な演奏形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	9
2学期	様々な音楽 【知識及び技能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりについて理解し、曲にふさわしい表現をするために必要な技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考えるとともに、自己のイメージをもって表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】様々な音楽の良さや美しさに関心を持ち、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・声楽 ・器楽 ・創作 ・鑑賞 【教材】 ・ジャズ ・世界の民族音楽 ・ふるさと ・一人１台端末	○	○	○	○	【知識及び技能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりについて理解し、曲にふさわしい表現をするために必要な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考えるとともに、自己のイメージをもって表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】様々な音楽の良さや美しさに関心を持ち、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	4
				○	○	○		○	○	○	9
	楽曲創作 【知識及び技能】音楽の特徴や構成上の特徴を表したい表現と合わせて理解し、手法を活用し音楽をつくる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】音楽の特徴や構成上の特徴を生かし、表現を工夫して創作する活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・楽曲創作 ・著作権 【教材】 ・ピーターと狼 ・著作権テキスト（文化庁） ・楽譜制作ソフト「Flat」 ・一人１台端末			○	○	【知識及び技能】音楽の特徴や構成上の特徴を表したい表現と合わせて理解し、手法を活用し音楽をつくる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】音楽の特徴や構成上の特徴を生かし、表現を工夫して創作する活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	13
3学期	曲にふさわしい表現 【知識及び技能】言葉の特徴と曲種に応じた発声との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】言語の違いによる歌唱の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・日本語の歌 ・イタリア語の歌 【教材】 ・この道 ・Caro mio ben ・一人１台端末	○				【知識及び技能】言葉の特徴と曲種に応じた発声との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】言語の違いによる歌唱の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	演奏会企画 【知識及び技能】歌唱や器楽等の特徴を理解し、曲にふさわしい表現や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】声や楽器の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・任意の曲の演奏 【教材】 ・任意の楽曲 ・一人１台端末	○	○		○	【知識及び技能】歌唱や器楽等の特徴を理解し、曲にふさわしい表現や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】声や楽器の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10 合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　外国語　　科目　英語コミュニケーションⅠ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅠ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　3 組

教科担当者：（Aクラス：安野）　（Bクラス：青木）　（Cクラス：川口）

使用教科書：（ 数研出版　BIG DIPPER　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】新出単語や熟語を、使用される状況下に応じた適切な訳で読み取り、またそれを用いて表現できる。様々な国の人の発話やスペルが混在する本文を適切に聞き取ったり、読み取ったりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】広告・評論文・データ情報や物語などを読んで適切な情報を読み取り、整理・要約することができる。またそれに対して自分の意見や感想を表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】多様な文化の在り方を理解して多様性を受け入れ、真摯に相手の伝えようとする姿勢に向き合い、対話・意見論述等に積極的に参加することができる。

科目　英語コミュニケーションⅠ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
新出単語や熟語を、使用される状況下に応じた訳で読み取ったり、適切に本文を聞き取ったりすることができる。また自分のことや意見などを簡単な表現で伝えることができる。	広告・評論文・データ情報や物語などを読んで大意を読み取り、ヒントに沿ってて整理・要約することができる。またそれに対して自分の意見を簡単な表現で表現できる。	多様な文化の在り方を理解して多様性を受け入れ、真摯に相手の伝えようとする姿勢に向き合い、対話・意見論述等に積極的に参加することに慣れる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話し合い	話し発表	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	高校英語への導入 【知識及び技能】 中学で習った単語・文法を用いて正しく自己表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じて適切に自己表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身について積極的に自己表現する。	・指導事項 基本例文 中学文法事項 ・教材 高校英語へのステップ 一人１台端末	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 中学の英単語・文法事項を理解し、正しく用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 中学の英単語・文法事項を理解し、正しく用いて、適切に自己表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	6
	Lesson1 【知識及び技能】 朝食の欠食とその影響について理解し、自分の考えを表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 性別ごとの欠食の割合を分析したり、バランスの良い朝食の在り方を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の朝食事情について積極的に表現する。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人１台端末	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 朝食の欠食とその影響について情報を整理し、要約できる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を適切に抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。バランスの良い朝食について、意見を述べることができる。	○	○	○	6
	Lesson2 【知識及び技能】 地域のゆるキャラが成功する秘訣やその宣伝努力について読み取り、自分の考えを表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 人物2人の会話にて誰がどのような発話をしたかの情報整理をする。 【学びに向かう力、人間性等】 ゆるキャラについてその実態を知る。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人１台端末	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ゆるキャラについての情報を集約し、整理してまとえることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。地元のゆるキャラに興味を持つことができる。	○	○	○	7
	定期考査								○			1
	Lesson3 【知識及び技能】 「リーダーとは」という問いに対して、動物と人間の違いを明確にし、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 動物や人間のリーダーの在り方について情報を整理・比較し分析する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身のリーダー性を確認し、あるべきリーダー像を考え、表現する。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人１台端末	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 動物と人間のリーダーの在り方を知り、情報を簡潔にまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 抽出した情報を比較し、動物と人間のリーダーの在り方を分析し、発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身のリーダー性を確認し、あるべきリーダー像について積極的に意見を述べることができる。	○	○	○	9
	Lesson4 【知識及び技能】 いろいろなスポーツの歴史や魅力を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 eスポーツがスポーツかどうかについて、理由を示して自分の考えを書く。 【学びに向かう力、人間性等】 最新のスポーツについて考え、理由を示して自分の考えを伝えあう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人１台端末	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 いろいろなスポーツの歴史や魅力を知り、情報を簡潔にまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 最新のスポーツについて積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	9
	定期考査								○			1
2学期	Lesson5 【知識及び技能】 AIが様々なシステムで使われていること、各専門家の意見を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 AIの芸術が人間の芸術を越えるか、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 AIによる芸術について考え、理由を示して自分の考えを伝えあう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人１台端末	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 AIが様々なシステムで使われていることを知り、情報を簡潔にまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 AIによる芸術について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	9
	Lesson6 【知識及び技能】 日本と世界の幸福度、ドミニカ人の幸福度の高さの理由について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幸せを感じる条件と実現のための具体的な方法を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】】 幸せを感じる方法について考え、理由を示して自分の考えを伝えあう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人１台端末	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 日本と世界の幸福度、ドミニカ人の幸福度の高さを知り、簡潔にまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 幸せを感じる方法について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	10
	定期考査								○			1
	Lesson7 【知識及び技能】 モルディブが抱える問題、日本の観光地が抱える問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 観光公害の起こる原因と考えられる解決法について表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 観光公害の解決法について考え、理由を示して自分の考えを伝えあう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人１台端末	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 モルディブと日本の観光地が抱える問題を知り、情報を簡潔にまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 観光公害の解決法について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	9
	Lesson8 【知識及び技能】 Kazuhiroがどのようにして夢を叶えたのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 好きな名言とその理由について表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 好きな名言について、理由を示して自分の考えを伝えあう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人１台端末	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 Kazuhiroがどのようにして夢を叶えたのかを知り、情報を簡潔にまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 好きな名言について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	9
	定期考査								○			1
3学期	Lesson9 【知識及び技能】 ゴミの再利用の新しい形について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ゴミを減らすために心がけている具体的な行動について表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ゴミを減らす方法について、理由を示して自分の考えを伝えあう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人１台端末	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ゴミの再利用の新しい形を知り、情報を簡潔にまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ゴミを減らす方法について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	13
	Lesson10 【知識及び技能】 日本企業の様々な取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 女性が30代で退職する理由について、解決策について表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 女性の就業状況について、理由を示して自分の考えを伝えあう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人１台端末	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 日本企業の様々な取り組みを知り、情報を簡潔にまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 女性の就業状況について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	13
	定期考査								○			1
												105

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　外国語　　科目 論理表現Ⅰ

教　科： 外国語　　科　目： 論理表現Ⅰ　　単位数： 2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　3 組

教科担当者：（Aクラス：青木）　（Bクラス：安野）

使用教科書：（ いいずな書店　Harmony Ⅰ　English Logic and Expression　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】新出単語や熟語を、使用される状況下に応じた適切な訳で読み取り、またそれを用いて表現できる。様々な国の人の発話やスペルが混在する本文を適切に聞き取ったり、読み取ったりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】広告・評論文・データ情報や物語などを読んで適切な情報を読み取り、整理・要約することができる。またそれに対して自分の意見を表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】多様な文化の在り方を理解して多様性を受け入れ、相手の伝えようとする姿勢に真摯に向き合い、対話・意見論述等に積極的に参加することができる。

科目　論理表現Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英文を読んでSVOCの文構造を分析することができ、またその文中に扱われている文法を理解することができる。様々な状況下において、適した英文法を使い分け、具体的かつ適切に英語表現することができる。	英文を読んで５W１Hの把握、時制や場所・時間帯などの状況を適切に判断することができる。また、求められた情報を適切に読み取ることができ、さらに自分の意見を適切な文法で表現できる。	文法構造やその理屈を知ることによって英語における自己表現がさらに深化することを実感できる。失敗を恐れることなく、積極的に英語表現しようとする姿勢を培う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話（やり）	話（発表）	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	Lesson1-3 【知識及び技能】 時制表現に着目して、適切に訳したり、自分のことを表現したりできる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 英文を見て時制の区別ができ、また、表現したいとおりに時制表現を扱うことができる判断力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の習慣や過去の習慣を積極的に表現する積極性を持たせる。	・指導事項 現在・過去・未来 自己表現 topic talk ・教材 教科書Harmony 準拠ワークブック 一人１台端末			○	○	○	【知識及び技能】 時制表現に着目して適切に訳ができる。 時制表現を伴って、自分の習慣や過去の習慣、今後の予定などを伝えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 他者の英語を見聞きして、情報を適切に把握することができており、適切な返事までできている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に会話や筆記の作業をすすめようとしている。	○	○	○	6
	Lesson4 【知識及び技能】 過去時制と現在完了の違いを理解し、これまでの経験・継続・完了を適切に区別する力を養い、また、自分のことを適切に表現できる技能を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 過去の出来事なのか、現在を巻き込んだ継続の時制なのかを判断する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 これまでの経験・継続、完了を積極的に表現する姿勢を持たせる。	・指導事項 現在完了 自己表現 topic talk ・教材 教科書Harmony 準拠ワークブック 一人１台端末			○	○	○	【知識及び技能】 過去の出来事と過去から現在までの継続・経験・完了を区別出来て、適切に英語表現できている。 【思考力、判断力、表現力等】 他者の英語を見聞きして、情報を適切に把握することができており、適切な返事までできている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に会話や筆記の作業をすすめ、情報交換しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1
	Lesson5-6 【知識及び技能】 助動詞の種類について学び、表現内容ごとに助動詞を使い分ける技能を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞を見てどのような訳になるのかを瞬時に判断できる力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 助動詞の種類を駆使して自己表現しようとする積極性を持たせる。	・指導事項 助動詞 自己表現 topic talk ・教材 教科書Harmony 準拠ワークブック 一人１台端末			○	○	○	【知識及び技能】 助動詞各種の訳を理解し、表現したい内容に合わせて使い分けることができている。助動詞の組み合わせや、文構造の規則をしっかり把握して表現できている。 【思考力、判断力、表現力等】 英文とその文脈から正しい訳を判断して、適切に情報を得ることができている。助動詞を多用して、その文に具体性を持たせて表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な助動詞を使って表現しようと挑戦することができている。	○	○	○	6
	Lesson7 【知識及び技能】 受動態における主語の立場の逆転を理解し、様々な視点に立って動作を受ける側の表現であることを理解させる。また適切な語順を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 受動態の文を読み、「誰が何をされたのか」などの情報を適切に読み取る力を養わせる。 【学びに向かう力、人間性等】 時間内に様々な受動態を創作する想像力を持たせる。	・指導事項 受動態 自己表現 topic talk ・教材 教科書Harmony 準拠ワークブック 一人１台端末			○	○	○	【知識及び技能】 動作の発信側から受け手側に変わることを理解し、さまざまなものの視点からの振田であることを理解できる。そして様々な視点から受動態の文を作ることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 英文から動作の発信者、受け手をしっかり理解することができている。また動詞を用いた受動態の文構造について適切に表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 想像力を働かせて様々な受動態の英文を表現できている。	○	○	○	6
	定期考査								○			1
2学期	Lesson8-10 【知識及び技能】 不定詞を駆使して３つの表現を学ばせ、身近なことについて表現する技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 文中の不定詞は何を伝える表現であるのかを判断し、適切に訳すカを身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 苦手意識を持たずに、不定詞が表現する内容を読み取ろうとする主体性を育む。	・指導事項 不定詞 自己表現 topic talk ・教材 教科書Harmony 準拠ワークブック 一人１台端末			○	○	○	【知識及び技能】 不定詞の３用法を理屈ではなく、表現したい内容に応じて自然とその文構造を使い分けることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞が使われてるその状況から、どのような訳になるのかを判断できる。また表現したい内容に応じて不定詞を使い分けることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 苦手意識を持たずに、理屈ではなく、英語会話の認識で用法を扱おうとしている。	○	○	○	7
	Lesson11 【知識及び技能】 動名詞を不定詞の共通項を認識し、かつ動名詞にしかない文構造を理解させ、適切に表現する力を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞を含んだ相手の英語に対して適切に情報を得ることができる力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に動名詞を使用する姿勢を持たせる。	・指導事項 動名詞 自己表現 topic talk ・教材 教科書Harmony 準拠ワークブック 一人１台端末			○	○	○	【知識及び技能】 動名詞の名詞節としての働きを理解し、自分のことを適切に表現することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 他者の表現を適切に見聞きし、情報を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 苦手意識を持たずに、理屈ではなく、英語会話の認識で用法を扱おうとしている。	○	○	○	7
	定期考査								○			1
	Lesson12-13 【知識及び技能】 前置修飾や後置修飾を区別し、適切に表現できる技能を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 その名詞がどのようなものなのか、付け加えられた説明から適切に情報を得る読解力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ものごとの説明を具体的かつ適切に表現しようとする積極性を持たせる。	・指導事項 分詞 自己表現 topic talk ・教材 教科書Harmony 準拠ワークブック 一人１台端末			○	○	○	【知識及び技能】 名詞に具体的な説明を付与する働きであることを理解し、現在分詞と過去分詞を厳ぶ準に使い分ける技能を有している。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞構文であると認識し、文脈に沿った接続詞のニュアンスを判断することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 分詞を用いて身の回りのことを積極的に表現しようとしている。	○	○	○	5
	Lesson14-15 【知識及び技能】 分詞と同様に説明を加える文章であるが、文構造に大きな違いがあることを理解させる。また関係詞を適切に使って表現する技能を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 付け加えられた説明から適切に情報を得る読解力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人物や物への説明を適切にしようとする積極性を持たせる。	・指導事項 関係詞・関係副詞 自己表現 topic talk ・教材 教科書Harmony 準拠ワークブック 一人１台端末			○	○	○	【知識及び技能】 関係代名詞の役割を理解し、その後に続く節を適切に構成することができている。また、適切に訳したり、情報を判断することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 説明を受ける先行詞がどういうものなのかの情報を適切に理解・判断することができている。また、文脈から適切な関係詞を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの人物や事象を関係詞を用いて具体的に説明しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査								○			1
3学期	Lesson16-17 【知識及び技能】 比較の表現を理解し、物事の同位・比較を適切に表現することができる力を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフやデータを見て、情報を適切に得たり、データの比較をし、結果を考察するなどの思考・判断力を養わせる。 【学びに向かう力、人間性等】 グラフやデータに苦手意識を持たずに前向きに読み取ろうとする姿勢を養う。	・指導事項 比較 自己表現 topic talk ・教材 教科書Harmony 準拠ワークブック 一人１台端末			○	○	○	【知識及び技能】 ものごとの比較・同位表現を理解し、比較したいものやその優劣を適切な文構造で組み立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報やデータを読み取り、比較対象とその優劣が適切に読み取ることができる。またそれに対するデータへの意見等を表現することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 読み取ったデータを数字科的知識や社会科的知識と絡めて多面的に説明しようとしている。	○	○	○	9
	Lesson18 【知識及び技能】 直接法と仮定法過去・大過去の違いを理解させ、表現したいとおりに現在時制と過去時制を使い分ける技能を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 その人物は何を願っているのか、タラレバ表現を適切に読み取り、判断する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 もしも…の自由表現を他と積極的に意見交換し、積極的に会話をしようとする姿勢をもたせる。	・指導事項 仮定法 自己表現 topic talk ・教材 教科書Harmony 準拠ワークブック 一人１台端末			○	○	○	【知識及び技能】 直接法・仮定法の文構造を理解し、表現したい内容に応じて使い分けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 その英文を見て、直接法であるか仮定法であるか、また、仮定法過去であるか、仮定法大過去であるかを判断できる。そして想像力を生かして様々なタラレバ表現を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 「もしも…ならば」の質問をつくるにあたり、想像力を生かして積極的に取り組むことができる。	○	○	○	8
	定期考査								○			1
											合計	70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　　情報　　科目 情報Ⅰ

教　科：　情報　　科　目：　情報Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　2 組～　3 組

教科担当者：（２組：田中）　（３組：田中）

使用教科書：（ 高等学校　情報Ⅰ）

教科　情報　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】問題の発見・解決の方法を理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けることができる。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見出す力を身に付けることができる。

【学びに向かう力、人間性等】情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して、情報社会に主体的に参画することができる。

科目　情報Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深める。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時数
1学期	ワープロソフトの使い方	・ワープロソフトの使い方を知る ・ホームポジションを身につける ・タイピングの速度を向上させる ・文字配置を変更できるようになる ・レイアウトを変更できるようになる ・図表の挿入の仕方を学ぶ	・ワープロソフトを使えるようになり、タイピング速度を向上させることができたか。 ・文章のレイアウトを自在に整えることができるようになったか。	○		○	10
	ハードウェア、ソフトウェア	・コンピュータの五大装置について学ぶ ・ハードウェアのはたらきを知る ・コンピュータのスペックの調べる ・OSの種類と機能を知る ・ファイルシステムを理解する ・拡張子のはたらきを理解する	・ハードウェアのはたらきを理解し、説明できるようになったか。 ・ソフトウェアのはたらきを理解し、説明できるようになったか。	○			8
	表計算ソフトの使い方	・表計算ソフトの基本操作を学ぶ ・オートフィル操作をできるようにする ・数式や関数を使えるようにする ・グラフの作成方法を学ぶ ・回帰直線を用いて推定を行う ・グラフの注意点を学ぶ	・表計算ソフトをの基本的な技能（入力、オートフィル、数式、関数、グラフ）を身に付けることができたか。 ・表計算ソフトを用いて、効率よく問題を解決することができたか。	○	○		8
2学期	プレゼンテーションソフトの使い方	・ソフトの基本操作を学ぶ ・プレゼンテーションスキルを身につける	・プレゼンテーションソフトの基本操作を身につけることができたか。	○			4
	プレゼンテーション	・人に伝わる話し方を身につける ・プレゼンテーションの構想を練る ・人に伝わるスライドを作る ・本番に向けてリハーサルをし、スムーズに発表できるようにする ・聴衆の興味を引くプレゼンをする ・他者の発表を評価する	・人に伝わるプレゼンとはどのようなものか理解できたか。 ・人に伝わるスライドを作ることができたか。 ・聴衆の興味を引くプレゼンテーションを行うことができたか。 ・他者のプレゼンテーションを評価し、改善点を考えることができたか。		○	○	6
	ビジュアルプログラミング	・アルゴリズムを考えることの重要性を知る ・プログラミングの仕組みを理解する ・Scratchでプログラミングを行う ・コンピュータが動く仕組みを理解する ・よいアルゴリズムとは何かを考える	・コンピュータはアルゴリズムに従って情報を処理していることを理解できたか。 ・アルゴリズムを考え、ブロックでプログラミングをすることができたか。 ・アルゴリズムの良し悪しについて考察し、他者に説明できたか。	○	○	○	6
	N進数とその計算	・2進法の数え方に慣れる ・情報量の単位を理解し計算できるようになる ・2進数の足し算、掛け算ができるようになる ・2進数↔10進数、2進数↔16進数の基数変換ができるようになる	・情報量の単位を理解して、計算問題を解くことができたか。 ・2進数どうしの足し算、掛け算について理解し、計算問題を解くことができたか。 ・計算によって基数変換をすることができるようになったか。	○			6
	アナログとデジタル	・アナログ、デジタルとは何かを理解する ・アナログ、デジタルのメリット、デメリットを理解し説明できるようになる	・アナログ、デジタルのメリット、デメリットを理解し、説明することができたか。	○	○		4
3学期	文字、音声、画像、動画のデジタル化	・文字情報を届ける仕組みを理解する ・文字コード表を読み取ることができるようになる ・文字コードの歴史や種類について知る ・文字化けとはどのような現象なのかを体験し、理解する ・音声、画像、動画のデジタル化の仕組みについて理解する	・文字情報を届ける仕組みやその歴史を理解することができたか。 ・様々な情報が、標本化、量子化、符号化の手順でデジタル化されていることを理解し、他者に説明することができたか。	○			6
	プログラミング	・コンピュータは人間からの命令に従って情報を処理しているということを理解する ・プログラミングによってコンピュータに命令を行い、簡単な計算を自動化することができるようになる	・入出力、変数、データ変換などのPythonの基本操作を習得できたか。 ・簡単な計算をコンピュータが処理できる形にモデル化できたか。 ・基本操作を基に、簡単な計算を自動化する仕組みをつくることができたか。	○	○	○	4
	Project-Based-Learning （問題解決学習）	・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける ・情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を身に付ける。	・問題の発見を行うことができたか。 ・問題解決に向けて計画を立てることができたか。 ・計画に従って問題解決を実行できたか。 ・計画どおりにいかなくなった際、軌道修正することができたか。 ・問題を解決したことを、客観的に評価することができたか。	○	○	○	8 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科 農業 科目 農業と環境（栽培）

教 科： 農業 科 目： 農業と環境（栽培） 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：土屋 木村

使用教科書：（ 実教出版「農業と環境」 ）

教科 農業 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 農業と環境（栽培） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業の栽培分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	農業の栽培分野に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の栽培分野について基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	・作物に興味関心を持つ。 ・作物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。	「栽培の基礎」 ・たねと発芽・たねまき ・成長のしくみと管理 ・作物の養分と肥料 ・生活の中の作物 ・作物の自然分類 ・作物の生育を支える土	【知識及び技能】 作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに，関連する技術を身についた。 【思考力、判断力、表現力等】 作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し，想定される管理上の諸課題について整理し，解決に向け，創造的に解決できた。 【学びに向かう力、人間性等】 作物に興味・関心を示し，その特性や管理，および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び，主体的かつ協働的に取組めた。	○	○	○	24
	・作物の特性や生育環境・管理に関する実践的な知識を身につけさせ、管理の原理や方法等を理解する。 ・自らの課題に基づき、適切な課題を設定し、実施に向けた計画を立案するための思考・判断・表現できる力を身につける。 ・栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につける。	「栽培と利用」 ・草花（春まき一年草） 播種、鉢上げ、追肥、徒長、切り戻し、花壇 ・草花（宿根草） さし芽、鉢上げ ・作物（トウモロコシ） 播種、追肥、土寄せ、収穫 ・作物（ダイズ） マルチング、播種、追肥、収穫	【知識及び技能】 作物の特性や育成と環境要素，生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに，関連する技術を身につけた。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や育成と環境要素，生産計画と工程管理に関する課題を発見し，科学的根拠に基づいて創造的に解決できた。 【学びに向かう力、人間性等】 作物の特性や育成と環境要素，生育と環境要素，生産計画と工程管理について，自ら学び主体的かつ協働的に取り組めた。	○	○	○	
	定期考査			○	○		2
2学期	・作物に興味関心を持つ。 ・作物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。	「栽培の基礎」 ・作物栽培と環境 ・作物の生育を支える土 ・作物の繁殖 ・作付体系と作型	【知識及び技能】 作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに，関連する技術を身についた。 【思考力、判断力、表現力等】 作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し，想定される管理上の諸課題について整理し，解決に向け，創造的に解決できた。 【学びに向かう力、人間性等】 作物に興味・関心を示し，その特性や管理，および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び，主体的かつ協働的に取組めた。	○	○	○	24
	・作物の特性や生育環境・管理に関する実践的な知識を身につけさせ、管理の原理や方法等を理解する。 ・自らの課題に基づき、適切な課題を設定し、実施に向けた計画を立案するための思考・判断・表現できる力を身につける。 ・栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につける。	「栽培と利用」 ・草花（秋まき一年草） 播種、鉢上げ、追肥、切り戻し、花壇 ・草花（宿根草） 摘心、わい化処理 ・草花（球根植物） 植え付け ・作物（ハクサイ） 播種、育苗、害虫防除	【知識及び技能】 作物の特性や育成と環境要素，生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに，関連する技術を身につけた。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や育成と環境要素，生産計画と工程管理に関する課題を発見し，科学的根拠に基づいて創造的に解決できた。 【学びに向かう力、人間性等】 作物の特性や育成と環境要素，生育と環境要素，生産計画と工程管理について，自ら学び主体的かつ協働的に取り組めた。	○	○	○	
	・食と農業の現状や動向，課題に関心を持たせ，主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身につけさせる。 ・地域環境と農業，生活に関する諸課題の解決を目指し思考を深めさせ，基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し，その課程や結果を適切に表現する力を身につけさせる。 ・地域環境と農業，生活に関する資料や情報を収集し，適切に選択して活用する力を身につけさせる。	・地域の農業と環境について	【知識及び技能】 私たちの暮らしと農業・農村について理解するとともに，関連する技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 私たちの暮らしと農業・農村に関する課題を発見し，科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 私たちの暮らしと農業・農村について自ら学び，主体的かつ協働的に取り組む。	○	○	○	
	定期考査			○	○		2
3学期	・作物に興味関心を持つ。 ・作物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。	「栽培の基礎」 ・作物の育種	【知識及び技能】 作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに，関連する技術を身についた。 【思考力、判断力、表現力等】 作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し，想定される管理上の諸課題について整理し，解決に向け，創造的に解決できた。 【学びに向かう力、人間性等】 作物に興味・関心を示し，その特性や管理，および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び，主体的かつ協働的に取組めた。	○	○	○	17
	・作物の特性や生育環境・管理に関する実践的な知識を身につけさせ、管理の原理や方法等を理解する。 ・自らの課題に基づき、適切な課題を設定し、実施に向けた計画を立案するための思考・判断・表現できる力を身につける。 ・栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につける。	・作物（ジャガイモ） 植え付け準備、植え付け ・花壇用草花の栽培と利用 交流授業	【知識及び技能】 作物の特性や育成と環境要素，生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに，関連する技術を身につけた。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や育成と環境要素，生産計画と工程管理に関する課題を発見し，科学的根拠に基づいて創造的に解決できた。 【学びに向かう力、人間性等】 作物の特性や育成と環境要素，生育と環境要素，生産計画と工程管理について，自ら学び主体的かつ協働的に取り組めた。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　農業　科目 農業と環境（地域）

教　科：　農業　　科　目：　農業と環境（地域）　　単位数：　　単位

対象学年組：第　１学年　１組

教科担当者：（丸橋）

使用教科書：（ 実教出版「農業と環境」　　）

教科　農業　　の目標：

【知識及び技能】　農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　農業に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　農業と環境（地域）　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業の地域資源分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業の地域資源分野に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の地域資源分野について基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・人間と植物・動物のかかわりについてりかいするとともに、関連する技術を身に付けさせる。 ・人間と植物・動物のかかわりに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けさせる。 ・人間と植物・動物とのかかわりについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことが出来る。	「人間と植物・動物とのかかわり」 ・椿園の管理作業	【知識・技能】 人間と植物・動物とのかかわりについて十分に理解して活用し、新たな知識と技術の習得を目指して取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 十分に地域資源に関する課題に興味をもち積極的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持とうとしている。	○	○	○	24
	・農業と食料供給について理解するとともに，関連する技術を身に付けさせる。 ・農業と食料供給に関する課題を発見し，科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を身に付けさせる。 ・農業と食料供給について自ら学び，主体的かつ協働的に取り組むことが出来る。	「農業と食料供給」	【知識・技能】 農業と食料供給について十分に理解して活用し、新たな知識と技術の習得を目指して取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 農業と食料供給に関する課題に興味をもち積極的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持とうとしている	○	○	○	
	定期考査			○	○		2
2学期	・農業と農村について理解するとともに，関連する技術を身につけさせる。 ・農業と農村に関する課題を発見し，科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を身に付けさせる。 ・農業と農村について自ら学び，主体的かつ協働的に取り組むことが出来る。	「農業・農村の役割」 ・椿油製造と工場見学	【知識・技能】 農業・農村の役割について十分に理解して活用し、新たな知識と技術の習得を目指して取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 農業・農村の役割に関する課題に興味をもち積極的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持とうとしている。	○	○	○	24
	・これからの社会と農業・農村について理解するとともに，関連する技術を身に付けさせる。 ・これからの社会と農業・農村に関する課題を発見し，科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を身に付けさせる。 ・これからの社会と農業・農村について自ら学び，主体的かつ協働的に取り組む力を身に付けさせる。	「これからの社会と農業・農村」	知識・技能】 人間と植物・動物とのかかわりについて十分に理解して活用し、新たな知識と技術の習得を目指して取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 十分に地域資源に関する課題に興味をもち積極的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持とうとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		2
3学期	・自然環境とその調査，改善方法について基礎的な内容を理解するとともに，関連する技術を身に付けさせる。 ・自然環境とその調査，改善方法に関する課題を発見し，科学的根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けさせる。 ・自然環境とその調査，改善方法について，自ら学び主体的かつ協働的に取り組む力を身に付けさせる。	「地域資源の調査」 ・椿ガイドの実践 「農業と環境のプロジェクトの実際」 ・地域の素材を活かした商品開発		○	○	○	17
	定期考査			○	○		1 合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　農業　科目 農業と環境（畜産）

教　科：　農業　　科　目：　農業と環境（畜産）　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組

教科担当者：（梅田）

使用教科書：（ 実教出版「農業と環境」 ）

教科　農業　の目標：

【知識及び技能】　農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けようとする。

【思考力、判断力、表現力等】　農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目　農業と環境（畜産）　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学校での学習や実習，産業現場での実習を通して，農業と環境（畜産）に関するをその目的や条件に合わせて活用できる知識と技術を体系的・系統的に理解している。	農業と環境（畜産）に関する環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもって思考を深め，科学的な根拠などに基づいて創造的に判断し，その過程や結果を適切に表現している。	農業と環境(畜産)を活用した事例をもとに，環境保全や農林業の持続的発展に果たす意義や役割に関心をもちながら，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・農業や環境は人間生活の影響を受け、相互に影響しあう関係にあることを理解させる。 ・農業の学び方の核となるプロジェクト学習法について関心をもち、実践と検証への意欲と態度を身に付けさせる。 ・家畜の特性や管理、畜産物の加工について主体的に学ぶ態度と意欲を身に付けさせる。	第1章　農業と環境を学ぶ 1 農業学習とは何か 2 農業と環境の学び方 第3章　栽培と飼育の基礎 3 家畜の特性と飼育 ・農業学習とは何か（座学） ・農業と環境の学び方（座学） ・鶏卵加工実習（実習） ・家畜とは何か（座学） ・家畜の管理実習（実習） ・農業クラブ活動とプロジェクト学習（座学） ・羊の生態と毛刈り（実習） ・家畜の健康管理と衛生（座学、実習）	【知識・技能】 農業と環境における畜産分野の学び方について理解するとともに関連する技術等を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 農業と環境における畜産分野に関する課題に興味・関心を持ち解決しようとする姿勢をもって取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らが主体的・協働的に学習に取り組み、科学的根拠に基づいた自分の意見を持とうとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		2
2学期	・農業の学び方の核となるプロジェクト学習法について関心をもち、実践と検証への意欲と態度を身に付けさせる。 ・家畜の特性や管理、畜産物の加工について主体的に学ぶ態度と意欲を身に付けさせる。 ・地域の畜産とその特徴を理解するとともに、課題研究等につながる課題意識を醸成させる。	第3章　栽培と飼育の基礎 3 家畜の特性と飼育 第4章　栽培と飼育と環境の往路ジェクト ・家畜の飼育管理（実習） ・生産品販売実習（実習） ・鶏の解体と加工処理（実習） ・地域の畜産とその特徴（座学）	【知識・技能】 農業と環境における畜産分野の学び方について理解するとともに関連する技術等を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 農業と環境における畜産分野に関する課題に興味・関心を持ち解決しようとする姿勢をもって取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らが主体的・協働的に学習に取り組み、科学的根拠に基づいた自分の意見を持とうとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		2
3学期	・農業の学び方の核となるプロジェクト学習法について関心をもち、実践と検証への意欲と態度を身に付けさせる。 ・家畜の特性や管理、畜産物の加工について主体的に学ぶ態度と意欲を身に付けさせる。 ・地域の畜産とその特徴を理解するとともに、課題研究等につながる課題意識を醸成させる。	第3章　栽培と飼育の基礎 3 家畜の特性と飼育 第4章　栽培と飼育と環境の往路ジェクト ・家畜の種類と特徴（座学） ・飼養環境の改善と整備（座学・実習） ・家畜の排せつ物と環境（座学） ・鶏の消化器官と生殖（座学） ・鶏のワクチン接種と衛生（座学・実習）	【知識・技能】 農業と環境における畜産分野の学び方について理解するとともに関連する技術等を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 農業と環境における畜産分野に関する課題に興味・関心を持ち解決しようとする姿勢をもって取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らが主体的・協働的に学習に取り組み、科学的根拠に基づいた自分の意見を持とうとしている。	○	○	○	16
	定期考査・まとめ			○	○		2 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科 農業 科目 総合実習

教 科： 農業 科 目： 総合実習 単位数： 2 単位 （農林科生は時間外1単位もあり）

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：木村 土屋 梅田

使用教科書：（ なし ）

教科 農業 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 総合実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	農業の各分野に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の各分野について基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	オリエンテーション	農場案内、安全管理等説明	**評価の観点** 【知識・技能】 十分に農業の専門的な知識と器具・機器の使用方法などの技術を十分に理解して活用し、新たな知識と技術の習得を目指して学習に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 十分に農業に関する課題に興味をもち、積極的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 中心となって主体的・協働的に学習に取り組み、科学的根拠に基づく自分の意見を持ようとしている。	○	○	○	1
1学期	A 野菜分野 【知識及び技能】 野菜栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	野菜の種類 野菜の生育と栽培管理 播種、マルチング 歩行型トラクターの操作 野菜の収穫		○	○	○	8
	B 草花分野 【知識及び技能】 草花栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 花き生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	草花栽培の基礎 春まき１年草の栽培 草花の利用		○	○	○	8
	C 畜産分野 【知識及び技能】 家畜飼育の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 畜産業の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	家畜への接し方と管理の方法 飼育施設器具の名称と使用方法 家畜の種類と鶏の品種		○	○	○	8
	定期考査 （筆記および実物鑑定）			○	○		2
2学期	A 野菜分野 【知識及び技能】 野菜栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	野菜の生育と栽培管理について トマト、キュウリの手入れと収穫		○	○	○	8
	B 草花分野 【知識及び技能】 草花栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 花き生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	秋まき１年草の栽培 草花の利用 学校祭に向けての準備 乗用トラクターの操作方法		○	○	○	8
	C 畜産分野 【知識及び技能】 家畜飼育の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 畜産業の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	家畜の飼育管理実習 鶏の解体と加工 ベーコンの製造実習 学校祭生産品販売		○	○	○	8
	定期考査 （筆記および実物鑑定）			○	○		2
3学期	A 野菜分野 【知識及び技能】 野菜栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	培養土づくり 野菜、年間のまとめ	**評価の観点** 【知識・技能】 十分に農業の専門的な知識と器具・機器の使用方法などの技術を十分に理解して活用し、新たな知識と技術の習得を目指して学習に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 十分に農業に関する課題に興味をもち、積極的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 中心となって主体的・協働的に学習に取り組み、科学的根拠に基づく自分の意見を持ようとしている。	○	○	○	5
	B 草花分野 【知識及び技能】 草花栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 花き生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	草花の装飾 草花栽培のまとめ		○	○	○	5
	C 畜産分野 【知識及び技能】 家畜飼育の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 畜産業の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	畜産加工品の製造実習 家畜の飼育管理実習 放牧場の維持管理実習 家畜管理のまとめ		○	○	○	5
	定期考査 （筆記および実物鑑定）			○	○		2
							合計
							70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　家庭　科目 ファッション造形基礎

教　科：家庭　　科　目：ファッション造形基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　　組

教科担当者：（1組：坂本・濵田）

使用教科書：（ ファッション造形基礎／実教出版　　）

教科　家庭　　の目標：

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかる技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価･改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】さまざまな人々と協働し、よりより社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとするする実践的な態度を養う。

科目　ファッション造形基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
衣服の構成、衣服材料の種類や特徴など衣服製作に関する知識と技術を習得する。	・衣服のデザインや材料の選択に関し、個人の創意・工夫を表現することができる。また製作過程や作品の着用において、必要に応じて個人の創意・工夫をいかし表現することができる	ファッション造形の基礎的な力と態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・縫製に関する基礎的な事項を理解し、技術を習得する。 ・被服材料の種類や特徴に関して理解し、製作する被服の用途に適した被服材料を選択できる。 ・意欲的に裁縫技術習得に取り組んでいる。	・被服製作の基礎 ・裁縫道具やミシンの名称 ・被服の素材	【知識・技能】 被服の素材、縫製に関する道具の名称・用途を理解している。 【思考・判断・表現】 素材を理解し基礎的な縫製技術を用い、個人の創意・工夫を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 素材の特性・縫製に関心を持ち、自ら学ぶ態度を示している。	○	○	○	6
	・ミシンの基礎的知識・技術を習得する。 ・基礎的な縫製技術を用い、個人の創意・工夫を表現することができる。 ・ミシンでの衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	・平面構成の衣服製作 （エプロン・三角巾の製作）	【知識・技能】 ミシンの基礎的な事項を理解し技術を習得している。 【思考・判断・表現】 刺繍により、個人の創意・工夫を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ミシンでの衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	18
	定期考査	・筆記試験 ・実技試験		○	○		2
2学期	・下半身を覆う衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 ・基礎的な縫製技術を用い、個人の創意・工夫を表現することができる。	・洋服の製作 （ハーフパンツの製作）	【知識・技能】 衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 【思考・判断・表現】 刺繍技術やミシンを用いて作品に対し創意・工夫を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	18
	・手縫いやミシンの基礎的な技術を向上させる。 ・製作物の構成を理解し、指示通りの製作を行うことができる。	・被服製作技術検定4級	【知識・技能】 手縫いやミシン縫いの基礎的な技術が検定基準以上である。 【主体的に学習に取り組む態度】 検定合格に向けて意欲的に取り組んでいる。	○		○	6
	定期考査	・実技試験		○	○		2
3学期	・上半身を覆う衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 ・基礎的な縫製技術を用い、個人の創意・工夫を表現することができる。	・洋服の製作 （男女兼用カジュアルシャツの製作）	【知識・技能】 衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 【思考・判断・表現】 刺繍技術やミシンを用いて作品に対し創意・工夫を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用）　教科　　家庭　　科目　フードデザイン

教　科：家庭　　科　目：フードデザイン　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　　組

教科担当者：（1組：坂本・濵田）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ フードデザイン／教育図書　　）

教科　家庭　　の目標：

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目　フードデザイン　　の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解し、関連する技術を身につける。	食生活全般に関する課題を発見することができる。栄養、食品、調理等を体系的にとらえた上で、充実した食生活を総合的にデザインし、表現できる。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて関心をもち、主体的・協働的・積極的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	食事の意義と役割、食を取り巻く現状について、日常生活と関連づけて理解する。	・健康と食生活	【知識・技能】食事の意義と役割、食を取り巻く現状について、各種データを読み取り理解している。 【思考・判断・表現】各種データを分析思考し、その内容を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】食を取り巻く現状に関心を深め、問題意識を持っている。	○	○	○	2
	各栄養素の種類と栄養的な意義について理解する。 さまざまな食品について、特徴とその調理性、加工について理解した上で、調理に活かせる。	・栄養素・食品の特徴	【知識・技能】五大栄養素の働きと、各食品に含まれる栄養素を理解している。食品の特徴と調理性を理解している。 【思考・判断・表現】食品の調理性を実際の調理における現象と合わせて思考し、レポートに正しく表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】食品の調理性の理解と活用に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	調理及び調理器具の目的や活用法、調理の方法を理解し、実際の調理に活かせる。	・調理操作	【知識・技能】調理の基本知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理器具の活用や調理について、その場その場で理論に基づいて思考し、適切に判断し活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技能の向上に意欲的である。	○	○	○	6
	・食品の調理性をふまえた、適切な調理ができるようになる。 ・食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができるようなる。 ・各料理に合わせた盛りつけや、目的に合った食卓を整えることができる。	・調理実習	【知識・技能】食品の調理性をふまえた適切な調理技能を身につけている。各料理に合わせた盛りつけができる。 【思考・判断・表現】食品の調理性や食品衛生を考えながら適宜判断し、調理しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理実習に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査	筆記試験 実技試験		○	○		2
2学期	さまざまな食品について、特徴とその調理性、加工について理解した上で、調理に活かせる。	・食品の特徴	【知識・技能】食品の特徴と調理性を理解している。 【思考・判断・表現】食品の調理性を実際の調理における現象と合わせて思考し、レポートに正しく表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】食品の調理性の理解と活用に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	調理器具の目的や活用法、調理の方法を理解し、実際の調理に活かせる。	・調理操作	【知識・技能】調理の基本知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理器具の活用や調理について、その場その場で理論に基づいて思考し、適切に判断し活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技能の向上に意欲的である。	○	○	○	4
	調理器具の目的や活用法、調理の方法を理解し、実際の調理に活かせる。	・調理実習	【知識・技能】調理の基本知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理器具の活用や調理について、その場その場で理論に基づいて思考し、適切に判断し活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技能の向上に意欲的である。	○	○	○	16
	定期考査	筆記試験 実技試験		○	○		2
3学期	さまざまな食品について、特徴とその調理性、加工について理解した上で、調理に活かせる。	・食品の特徴	【知識・技能】調理の基本知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理器具の活用や調理について、その場その場で理論に基づいて思考し、適切に判断し活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技能の向上に意欲的である。	○	○	○	4
	献立を作成するための留意点を理解し、望ましい献立作成ができる能力を身につける。	・献立作成	【知識・技能】栄養バランスや味の調和がとれた弁当献立を立て、調理ができる。 【思考・判断・表現】年齢、性別に合わせて、栄養バランスを考慮した弁当献立を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】弁当献立作成に意欲的である。	○	○	○	4
	調理器具の目的や活用法、調理の方法を理解し、実際の調理に活かせる。	・調理実習	【知識・技能】調理の基本知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理器具の活用や調理について、その場その場で理論に基づいて思考し、適切に判断し活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技能の向上に意欲的である。	○	○	○	8
	定期考査	筆記試験 実技試験		○	○		2
							合計 70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（１学年用） 教科 家庭 科目 生活産業情報

教 科： 家庭 科 目： 生活産業情報 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～

教科担当者：（1組：大村優子）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ なし ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかる技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】さまざまな人々と協働し、よりより社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとするする実践的な態度を養う。

科目 生活産業情報 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活産業における情報の意義や役割を理解し、情報の処理に関する知識と技術を習得する。	情報社会における生活・産業の変化に課題を見つけ、思考を深める。また、考えをまとめて判断ができる。	生活産業の各分野で情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・生活産業情報」を学ぶにあたり，学習の意義や内容，学習方法や評価の方法，校内の設備や機器の利用のおける注意事項などを理解する。	生活産業情報を学ぶにあたってのオリエンテーション	「生活産業情報」に関心を持ち、学ぼうとする意欲を感じられる。			○	1
	・情報化が進展したことによる私たちの生活や産業における変化と，その問題点について理解したうえで，その解決に向けて考察する。	第1章 情報化の進展と社会 1節 情報化の進展と社会	・情報化の進展における現状，特段インターネットの利用が幅広い世代にわたっていることを理解することができる。 ・情報化の進展に伴う課題について理解し，自ら調べることができる。	○		○	1
	・衣食住、保育、家庭看護及び介護などのヒューマンサービスにかかわる生活産業の各分野で、情報技術がどのように利用されているかを、具体例とともに理解する。	第1章 情報化の進展と社会 2節 生活産業における情報化の進展	・生活産業の各分野で，情報技術が様々な形で利用されていることを理解することができる。 ・生活産業において利用されている事例を調べて発表することができる。	○	○	○	2
	・ネットワーク社会のモラルとマナーについて，具体的な事例を踏まえて理解する。	第2章 情報モラルとセキュリティ 1節 情報モラルとマナー	・SNSなどの利用において，どのようなことに注意しているのかをグループで話し合い，発表する。 ・個人情報がなぜ重要であるのかについて，理解することができる。	○	○	○	2
	・ネットワークも社会の一部であり，サイバー犯罪も存在することを事例をもとに理解する。	第2章 情報モラルとセキュリティ 2節 情報通信ネットワークのしくみとセキュリティ管理	・今日の社会では，情報通信ネットワークは欠かせない技術であり，さらに広範な活用が見込まれていることを理解する。 ・サイバー犯罪に対して個々人がどのような対策や工夫をしているのかを話し合って，発表する。	○	○	○	2
	・情報機器の基本構成（ハード・ソフト）と，それぞれの機能と動作を理解する。	第3章 コンピュータとプログラミング 1節 コンピュータの基本構成	・ハードとソフトからコンピュータは構成され，それぞれの役割があることを理解する。 ・身近なコンピュータを積極的に調べて，どのような構成からなっているのかをまとめることができる。	○	○	○	2
	・モデル化とシミュレーションの概要を理解し，具体的な活用例について学ぶ。	第3章 コンピュータとプログラミング 2節 モデル化とシミュレーション	・モデル化とシミュレーションの必要性について理解している。 ・表計算ソフトを使用して，実際にさまざまな数値を入力することで結果が変動することを確かめようとする。	○	○	○	2
	・プログラミングに関する基礎的・基本的な知識を学び，簡単なアルゴリズムで表現した処理手順を実行することで、自動的に処理ができることを理解する。	第3章 コンピュータとプログラミング 3節 アルゴリズムとフローチャート	・アルゴリズムの３つの基本構造を理解し，それぞれの特徴を説明することができる。	○	○		2
	・様々なメディアの特性とコミュニケーション手段の特徴を理解する。	第4章 生活産業におけるコミュニケーションと情報デザイン 1節 メディアの特性	・伝達，記憶，表現するためのメディアがあることを理解する。	○			2
	・生活産業の中で消費者と企業がどのようにコミュニケーションに利用しているかを理解する。	第4章 生活産業におけるコミュニケーションと情報デザイン 2節 コミュニケーション	・コミュニケーションは生活をする上で必要不可欠であることを理解する。 ・ユニバーサルデザインについて，身近な例をあげて説明することができる。	○	○		2
	・すべての人に必要な情報を伝えるための工夫が求められるとともに，課題もあることを理解する。	第4章 生活産業におけるコミュニケーションと情報デザイン 3節 情報デザインの課題	・文字（言葉）による伝達では限界があり，誰にでも伝わるための工夫が必要であることを理解する。 ・取り扱い表示例をもとに，なぜ変更されたのかを考察する。	○	○		2
	・文書作成ソフトの概要を理解し，操作方法を習得する。 ・文字入力を確実に行う。	第5章 各種アプリケーションの基本操作 第5章 各種アプリケーションの基本操作	・文書作成ソフトの機能を理解し，操作することができる。 ・例題に沿って課題を作成するよう自ら取り組んでいる。	○		○	5
	定期考査			○	○		1
2学期	・表計算ソフトの概要を理解し，操作方法を習得する。 ・適切な関数を選択し，利用できるようになる。	第5章 各種アプリケーションの基本操作 2節 表計算ソフトの利用	・表計算ソフトの機能を理解し，操作することができる。 ・例題に沿って課題を作成するよう自ら取り組んでいる。	○		○	6
	・表計算マクロ言語の概要について理解する。	第5章 各種アプリケーションの基本操作 3節 プログラミングソフトの利用	・表計算マクロ言語の概要について理解する。 ・例題に沿って課題を作成するよう自ら取り組んでいる。	○		○	4
	・プレゼンテーションソフトの概要を理解し，操作方法を習得する。 ・実際のプレゼンテーションにおける注意点を理解する。	第5章 各種アプリケーションの基本操作 4節 プレゼンテーションソフトの利用	・プレゼンテーションソフトの機能を理解し，操作することができる。 ・例題に沿って課題を作成するよう自ら取り組んでいる。 ・発表を行う際の注意点について具体的に考察している。	○	○	○	4
	・画像処理ソフトの概要を理解し，操作方法を習得する。	第5章 各種アプリケーションの基本操作 5節 画像処理ソフトの利用	・画像処理ソフトの機能を理解し，操作することができる。 ・例題に沿って課題を作成するよう自ら取り組んでいる。	○		○	4
	・動画編集ソフトの概要を理解し，操作方法を習得する。	第5章 各種アプリケーションの基本操作 6節 動画に関連したアプリケーションの利用	・動画編集ソフトの機能を理解し，操作することができる。 ・例題に沿って課題を作成するよう自ら取り組んでいる。	○		○	4
	・Webページ作成ソフトの概要を理解し，操作方法を習得する。 ・Webページの構成を理解する。	第5章 各種アプリケーションの基本操作 7節 Webページ作成ソフトの利用	・Webページの構造（トップページ，サブページ）を理解している。	○		○	3
	定期考査			○	○		1
3学期	・1テーマ15時間とし，2テーマ程度の応用実習をする。 ・それぞれの分野，対象，目的を明確にした情報コンテンツの作成を行う。 ・関連した情報を収集・処理・分析し，表現することができるようになる。 ・伝えたい情報を効果的に発信する方法について理解し，それを実践できる技術を身につける。 ・各種アプリケーションを必要に応じて使い分け，効果的に利用することができる。	第6章 生活産業に関連した情報デザイン 1節 食生活関連分野での利用 2節 衣生活関連分野での利用 3節 住生活関連分野での利用 4節 ヒューマンサービス関連分野での利用 5節 消費生活関連分野での利用	・関心のある分野について，伝えたい内容を考察し，テーマを設定する。 ・テーマに沿って，必要な情報を収集することができる。 収集した情報を処理し，どのように表現すべきか考察する。	○	○	○	18
							合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　　家庭　　科目 家庭基礎

教　科：　家庭　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　 1 組～　　組

教科担当者：（1組：濵田　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 未来につなぐ家庭基礎365（教育図書）　　）

教科　家庭　　の目標：

【知識・技能】　人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】　家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】　様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	自己理解を深めるとともに青年期の発達課題を理解し、将来の見通しを立てる。	・青年期の自立と家族・家庭	【知識・技能】青年期の課題を理解し、自分や家庭を取り巻く社会について理解している。 【思考・判断・表現】自己理解を他者に伝えることができる。自己の生き方について考え、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】自分らしい生き方について考え行動しようとしている。	○	○	○	10
	・子どもの心身の発達を理解し、子どもを産み育てることの意義を理解する。 ・子どもを育てる環境について考え表現できる。	・子どもの生活と保育	【知識・技能】 子どもの心身の発達を理解し、子どもを産み育てることの意義を理解している。 【思考・判断・表現】 子どもを育てる環境について考え表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの発達と子どもを取り巻く環境に関心を持っている。	○	○	○	10
	・生涯発達を理解し、高齢者との適切なかかわり方を習得する。 ・高齢化や福祉サービスの状況など超高齢社会について考えを深める。	・高齢期の生活と福祉	【知識・技能】 生涯発達を理解し、高齢者との適切なかかわり方を習得している。 【思考・判断・表現】 超高齢社会について考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢期を肯定的にとらえ、関心を深めている。	○	○	○	5
	・家庭や地域における共生、共同、福祉が果たす役割について理解し、地域活動やボランティアに関心をもつ。 ・障がい者への簡単な介助方法を習得する。	・共生社会と福祉	【知識・技能】 家庭や地域における共生、共同、福祉が果たす役割について理解している。 【思考・判断・表現】 共生のために自分ができることについて考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域活動やボランティアへの関心を高めている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
2学期	・被服の機能や手入れや保存について理解する。 ・被服が関わる安全や環境について考えを深め、実生活に活かす。	・衣生活と健康	【知識・技能】 被服の機能や手入れや保存について理解している。簡単な被服製作の技術を習得している。 【思考・判断・表現】 被服が関わる安全や環境について考えを深め、実生活に活かすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 被服生活に対し意欲的に考えようとしている。	○	○	○	10
	・住まいの機能について理解する。平面図を読み取ることができる。 ・住まいと暮らし方について考えを深めている。	・住生活と住環境	【知識・技能】 住まいの機能について理解している。平面図を読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 住まいと暮らし方について考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 安心して住める住環境について意欲的に考えようとしている。	○	○	○	4
	・栄養素の種類と機能、主な食品について理解する。 ・食事摂取基準のめやすに合わせて献立作成ができる。	・食生活と健康	【知識・技能】 栄養素の種類と機能、主な食品について理解している。 【思考・判断・表現】 食事摂取基準のめやすに合わせて献立作成ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実習等に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3学期	・消費者問題や家計の管理を理解している。 ・消費者問題への対処や責任ある消費者の行動について考えを深める。	・消費生活と意思決定	【知識・技能】 消費者問題や家計の管理を理解している。 【思考・判断・表現】 ・消費者問題への対処や責任ある消費者の行動について考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 消費者問題や消費者行動を自分のこととして考えようとしている。	○	○	○	8
	・消費行動が環境に与えた影響やグリーンコンシューマーの必要性を理解する。 ・持続可能な社会を実現するための提案を考える。	・持続可能なライフスタイルと環境	【知識・技能】 消費行動が環境に与えた影響やグリーンコンシューマーの必要性を理解している。 【思考・判断・表現】 持続可能な社会を実現するための提案を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境負荷の少ない生活の実践について考えようとしている。	○	○	○	5
	・定期考査						1
							合計
							70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用）　教科　総合的な探究の時間　科目　総合的な探究の時間

教　科：　総合的な探究の時間　　科　目：　総合的な探究の時間　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　3 組

教科担当者：全教員

使用教科書：（ なし　　）

教科　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】地域や社会の人，もの，ことに関わる探究の過程において，課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに，地域や社会の特徴やよさに気付き，それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付く。

【思考力、判断力、表現力等】地域や社会の人，もの，ことと自分自身との関わりから問いを見いだし，その解決に向けて仮説を立てたり，調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに，論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】地域や社会の人，もの，ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，持続可能な社会を実現するために行動し，社会に貢献しようとする態度を育てる。

科目　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域や社会の人，もの，ことに関わる探究の過程において，課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに，地域や社会の特徴やよさに気付き，それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付く。	地域や社会の人，もの，ことと自分自身との関わりから問いを見いだし，その解決に向けて仮説を立てたり，調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに，論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。	地域や社会の人，もの，ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，持続可能な社会を実現するために行動し，社会に貢献しようとする態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
通年（週時程外）	自己発見のための講座 【知識及び技能】 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに，自分自身が様々な人々のと関わりに支えられていることに気付かせる。 【思考力、判断力、表現力等】 地域社会と自分自身の関わりから問いを見いだし，解決に向けて仮説を立て，調査分析し，論理的にまとめ・表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に主体的・協働的に取り組み，社会に貢献しようとする態度を身に付けさせる。	自己発見のための講座 ①国際理解講演会（教務） ②玉川パフォーミング ・アーツプログラム ③国際理解講演会（進路）	数値評価ではなく文章記述による評価 【知識・技能】 地域や社会の人，もの，ことに関わる探究の過程において，課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに，地域や社会の特徴やよさに気付き，それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付くことができたか。 【思考・判断・表現】 地域や社会の人，もの，ことと自分自身との関わりから問いを見いだし，その解決に向けて仮説を立てたり，調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに，論理的にまとめ・表現する力を身に付けることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域や社会の人，もの，ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，持続可能な社会を実現するために行動し，社会に貢献しようとする態度を身につけることができたか。	○	○	○	6
	郷土芸能祭 【知識及び技能】 郷土芸能に関する課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，地域や社会の特徴やよさに気付き，探究の意義や価値に気付かせる。 【思考力、判断力、表現力等】 郷土芸能と自己との関わりから問いを見いだし，仮説を立て，調査分析し，論理的にまとめ・表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，社会に貢献しようとする態度を身に付けさせる。	郷土芸能祭 ①ガイダンス ②地区別ガイダンス ③各地区練習 ④各地区リハーサル ⑤郷土芸能祭 ⑥郷土研究振り返り ⑦報告書作成		○	○	○	29
							合計 35